



インスピレーションになろう

パリー・ラシン
2018-19年度国際ロータリー会長



No. 2 1

Takasago Rotary Club

週報

高砂

クラブ会長方針

“価値あるロータリーを”

- ①居心地のいいクラブ
- ②いつでもどこでも誰とでも親睦
- ③会員同士が刺激しあい、尊敬しあい、お互いの活力になろう
- ④ロータリーの価値を意識しよう

例会記録 (2018. 12. 14 (金)) 通算3,195回

◆開会・点鐘

◆ロータリーソング「我等の生業」

◆「四つのテスト」唱和

◆プログラム予定

12月21日 (金)	12月28日 (金)	1月4日 (金)	1月11日 (金)
年次総会 次年度理事役員決定 年末コンサート 高砂ロータリー楽団	休会 (定款第8条第1節(C)による)	休会	新年初例会 新年初謡曲・新春放談 謡曲同好会・ 高砂市長 登 幸人 様

◆出席報告

本日12月14日 会員数43名 出席者 25名 出席率 73.00%
前々回11月30日 会員数43名 修正出席者41名 出席率 82.00%修正

◆MAKE-UP

中尾 良治	会員	e-CLUB	12月14日
高畑 健一	会員	e-CLUB	11月30日
高畑 健一	会員	e-CLUB	12月 7日
滋野 敦士	会員	e-CLUB	11月16日
桂田 重信	会員	e-CLUB	12月12日
堀 直樹	会員	e-CLUB	12月14日
桂田 重信	会員	e-CLUB	11月27日
本庄 幸保	会員	e-CLUB	12月14日
後藤 純次	会員	e-CLUB	12月14日
増田 章吾	会員	e-CLUB	11月30日
増田 章吾	会員	e-CLUB	12月 7日



親睦・出席委員会
中野哲郎 委員



親睦・出席委員会
西田秀雄 委員長

◆S. A. A. (ニコニコ箱報告)

坂井 智代会長……高畑会員、本日の卓話よろしくお願
いします。
後藤 宗久幹事……高畑会員様、本日の卓話よろしくお
願いします。
森本 幸吉会員……高畑会員、本日の卓話よろしくお願
いします。
高畑 健一会員……誕生日のお祝いありがとうございます。



加治屋昭平 副S.A.A.

◆幹事報告（3,195回）

〈国際ロータリー第2680地区より〉

◎先週に続き、ポリオチャリティーゴルフコンペの案内が届いております。

日時：2019年2月28日（木）

場所：加古川ゴルフ倶楽部 8時集合

成績発表は3月2日のIM懇親会で行います。多数の参加をお願い致します。

◎地区大会前夜祭について

東播第二グループの会員は、会場収容能力の関係で、3月24日の会員家族懇親会の代わりに、3月22日の前夜祭で懇親会を開催させて頂く事になりました。間違えないようよろしくお願い致します。

尚、前夜祭登録料は地区大会登録料に含まれています。

〈例会変更のお知らせ〉

◎加古川中央RC

平成31年1月31日（木） → 職場例会を通常例会に変更します。

2月28日（木） → 3月2日（土）東播第二グループIM

◎明石南RC → 12月例会プログラムが届いております。

◎加古川平成RC

12月19日（水） → 22日 忘年家族例会に変更。

12月26日（水）、1月2日（水）、1月30日（水）は休会となっております。

〈その他〉

◎高砂市学校保健会より「保険だより」が届いております。

回覧にて確認をお願いします。

◎高砂プロバスクラブ小田会員著書カンパの件

合計22,600円集まりました。ありがとうございました。

12月13日に高砂プロバスクラブ例会で坂井会長より渡して頂きました。

◆会長の時間

「高砂プロバスクラブでの卓話 ～日本の社会保障の方向性～」

12月13日（木）、高砂プロバスクラブ会にお招きいただき卓話をさせていただきました。「日本の社会保障の方向性」と題し私が知っているところをお話しました。総人口の長期的トレンドのグラフを示し、あわせて保険医療制度がどのように変わってきたのか説明しました。卓話の後は活発な意見交換ができていい交流ができたと思っています。

日本の健康保険制度が始まったのが1927年であり、

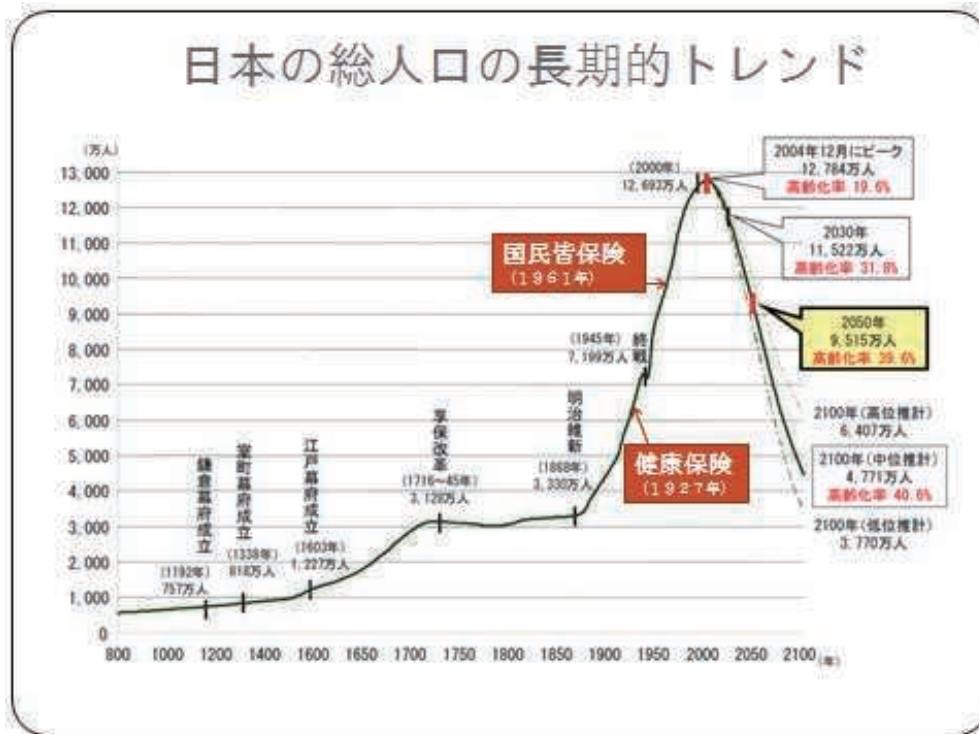


後藤宗久 幹事



坂井智代 会長

国民皆保険制度が完成したのが1961年です（図）。日本の高度経済成長とともに社会保障が充実しましたが、時代の流れで人口構成も人々の生活も変遷し、今後の社会保障のありかたの見直しが重要となっています。



日本の総人口の長期的トレンドでは、日本の人口は江戸時代まで3,000万人ほどであったものが、明治維新以降に急激な人口増加が続き1億2,000万人にまで膨らみました。2000年を境に今度はジェットコースターを下る勢いで人口減少に転じ、それに加え日本人の生活形態が変化したために社会保障のありかたも変わっています。時代を振り返ると、昭和の時代の前産業化（農業）の社会では家族内での助け合いがあり凝集性の高い強固な共同体が存在しましたが、工業化・都市化により核家族が増え単身赴任者が増え、老人は家族と別居することになり、それまで家族が担ってきた老人の経済的・身体的扶養が外部化されます。そして高齢化社会では女性が社会進出するようになり、いまは子育て支援が盛んに語られています。老人介護や子育てが外部化（社会化）されるなかでは国としての生産力が高度化しますが、かつての共同体ないし社会の凝集力は緩んでいます。この流れがいいのか悪いのかはわかりませんが時計の針は戻りませんので、この状況をふまえて今後のことを考えなくてはなりません。

社会保障費が膨大する要因は人口構成の問題だけではありません。医療費では、高齢化問題だけでなく高度医療や高額医療による問題が大きいのです。ノーベル賞をとった山中先生や本庶先生の研究による恩恵は多大ですが、現状では莫大な治療費がかかります。医療の発展と保険医療を継続するうえでの医療費のバランスがとても難しくなっています。高額薬剤の問題では薬価のなかに莫大な研究開発費がコストとして含まれるため、薬価を抑えるためには、基礎研究開発費を別枠で政府の予算から取る必要があることが指摘されていましたが、その予算について今朝のニュースで流れていました。

このような状況のなか平成30年11月20日財政制度審議会が、平成最後の予算編成として「平成31年度予算の編成等に関する建議」をまとめました。そこでは、「益々増大する負担を益々減少する将来世代に先送りすることにより、将来世代1人あたりの負担は重くなっている。」「負担先送りの罪深さはかつての比ではない。」「悲劇の主人公は将来の世代であり、現在の世代は将来の世代に責任を負っているのである。」「先人たちや新たな時代そして更にその先の時代の子供達に、平成時代の財政運営をどのように申し開くことができるのであろうか」という言葉が強調され、「現在の社会保障制度の持続可能性を確保する」ための方策が盛り込まれています。プロバスクラブの会員の皆さんは、いい時代も悪い時代も多くを経験をされてきた方々です。次の時代に何を残してくださるのか、なにを教えてください今後のご活躍に期待をしています。社会保障の問題はこれからの日本の歴史をもかえるかもしれません。深い経験と見識をおもちのプロバスクラブの皆様のお力がこれからも必要と思っています。

◆本日のプログラム

卓話「自己紹介」

サントリープロダクツ株式会社 高砂工場長 高畑 健一 様



森本幸吉 プログラム委員長



高畑健一 会員

